

斑点米カメムシの防除適期はいつ？

薬剤散布をしたのに斑点米がたくさん出てしまい、落等してしまいました。防除適期はいつなののでしょうか？

お答えします

1. 内容

- フェニルピラゾール系(キラップ)は穂揃期、ネオニコチノイド系(スタークル、アルバリンなど)は穂揃7日後～14日後・・・のように高い防除効果が得られる時期は薬剤によって異なります。下表を参照し、使用する薬剤の散布適期を確認してください。

薬剤名	散布時期
エルサン スミチオン トレボン MR.ジョーカー	穂揃期 + 穂揃7日後

薬剤名	散布時期
キラップ	穂揃期～穂揃7日後
スタークル アルバリン	穂揃7～14日後



青森県内の斑点米カメムシの主要種

左: アカスジカスミカメ 右: アカヒゲホソミドリカスミカメ

2. 解説

斑点米カメムシは水稻が出穂・開花すると、その香りに誘われて水田に飛び込んで来て、未熟なお米を加害します。出穂前は水田に斑点米カメムシが集まっていないので、いくら薬剤を散布しても高い効果は得られません。

いずれの薬剤を使用する場合も、最終散布から7～10日以内に追加散布を行うと斑点米カメムシの発生量が多い場合でも高い防除効果が得られます。

関連情報

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任のもとに使用しましょう。

①「農薬情報」 http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/



②「農薬登録情報提供システム」 http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

